

# 「おおとよ小学校」の校歌・校章ができました

新しい学校づくり検討委員会の委員の皆さまのご協力で、校歌や校章などが決まり、4月1日に開校する「おおとよ小学校」開校準備が進んでいます。

## 新しい学校づくり検討委員会

- 会長 小笠原 和浩
- 副会長 平野 右二
- 委員 // 太田 正弘
- 上地 仁
- 西村 光浩
- 釣井 龍彦
- 北村 栄治
- 公文 康彦
- 藤原 二三枝
- 小嶋 俊輔
- 今井 基史
- 下村 香子
- 秋山 聖一
- 桑名 公一
- 久保 龍太
- 今井 節雄
- 西村 敏雄

## おおとよ小学校校歌

作詞 村本 雅紀  
作曲 青島 広志



- 1 朝陽を浴びる 梶ヶ森 広く爽やか 雄大に 明るい心 育んで 夜空の星に 願おうよ みんな輝け 輝け おおとよ小学校
- 2 力あふれる 吉野川 長く元気に たくましく 清い心で 踏みしめて 明日へと前へ 進もうよ みんな歩こう 歩こう おおとよ小学校
- 3 歴史を語る 大杉よ 強く大きく 健やかに 豊かな心 抱きつつ 新たな時代 創ろうよ みんな伸びゆけ 伸びゆけ おおとよ小学校

作詞の村本雅紀さんは群馬県在住、作曲の青島広志さんは東京都在住で、ピアニストや指揮者としても活躍しています。お二人とも校歌を作った経験をお持ちの方です。校章デザインの石川武志さんは、大阪市在住で大豊町出身の方です。

## みんなで一緒に音楽授業



1月28日、大豊小学校体育館で、大豊小学校・大田口小学校・大豊小学校三校の児童が集まって、「三つの学校の心一つ」をテーマに、音楽の特別授業がありました。統合に向けて三校の交流を例年以上に増やし、子どもたちの交流も深まっています。



## 文芸誌「ともじび」第24号発行

大豊町文化協会文芸部では、毎年文芸誌「ともじび」を発行しています。「ともじび」は大豊町在住の小学生から、遠く大豊の地を離れ、異郷の地で活躍されている方まで、多くの方の寄稿をいただいで作成されています。内容は詩・短歌・俳句・川柳・随筆・作文など多分野にわたります。そして、それぞれの作品には大豊町に対する想いが綴られており、温かい一冊となっております。多くのご購読をよろしくお願いたします。なお、「ともじび」は、1冊500円で販売しています。詳しくは、大豊町教育委員会にお問い合わせください。

問い合わせ先：大豊町教育委員会

☎72-0458

## 教育委員会 だより



講師は、テレビ番組「世界一受けたい授業」でもおなじみの青島広志先生と、テノール歌手の小野つとむ先生で、踊って歌って、とても楽しい授業となりました。最後には、今年4月1日に開校の「おおとよ小学校」の校歌の紹介もありました。校歌・校章についての詳しいことは、右ページをご覧ください。



## おめでとう!

## 中学生の各種入賞の皆さん Part.2



- ◆第81回全国書画展覧会（毛筆の部）  
金賞 釣井 香歩（3年）
- ◆第38回「ごはん・お米とわたし」  
入選 藤原 慧人（3年）  
佳作 笹岡 義史（1年） 釣井 香歩（3年）
- ◆こども小砂丘賞  
優秀賞 加藤 葵（2年）

校歌の歌詞にもあるように大豊町を担う子どもたち「みんな輝けみんな伸びゆけ」そして、校章のデザインイメージにもあるように3校の子どもたちがひとつになり「歩む」ことを心から願っています。

豊かな自然の大豊で、3校の子どもたちが共に手を取り、ひとつに重なって、未来に向かって元気に成長してほしいという願いを、シンプルなデザインでシンボリックに表現しました。

OTOYOの文字の中の3つの輪を重ねて3校統合のモチーフに使用。



「小」の文字と町の鳥「ヤマガラ」を組み合わせて、子どもたちが未来（上）へと飛翔していくイメージ。



3校の子どもたちが互いに手を取り合い、ひとつに結びつくイメージ。

